JJAP特集号への投稿のお誘い

Japanese Journal of Applied Physics(JJAP)では、2025年国際固体素子・材料コンファレンス(SSDM2025)の特集号の発行を予定しております。研究成果をより広く発信するためにも、貴論文のSSDM2025特集号への投稿をご検討ください。

JJAPは2014年よりIOP Scienceからの出版となり、特に海外への発信力が強化されています。ぜひSSDM2025特集号を研究成果のアピールにご利用ください。

SSDM2025特集号は、論文がアクセプトされ次第、順次オンラインで公開を開始します。なお、SSDM2025に採択された論文であっても、本会議で発表されなかった場合には論文取り消しと見なされ、特集号掲載の対象とはなりませんのでご注意下さい。ご投稿に際しましては、下記の注意事項をご一読いただき、Author Guidelines

(https://iopscience.iop.org/journal/1347-4065/page/Author_Guidelines) に沿ってご投稿をお願いします。

JJAP SSDM2025特集号のスケジュール

2025年

8月4日(月) 特集号への投稿受付開始(オンライン)

9月15~18日 2025年国際固体素子・材料コンファレンス (SSDM2025)

10月24日(金) 特集号への投稿締切(オンライン)

*締切の延長は行いません

10月下旬 特集号審查開始

採択された論文から順次オンライン公開。

2026年

2月末 特集号審査終了

SSDM2025発表論文のJJAP特集号への投稿に関するご注意とお願い

- ① JJAP特集号に投稿する論文は、SSDM 2025 Extended Abstractと同一ではないもの、すなわち、データや記述の追加、より詳細な議論の展開などが含まれたオリジナルなものが要求されます。 論文中で必ずSSDM2025 Extended Abstractを引用した上で、新たにどのような内容が追加されたかについて、Introduction等で簡潔に記述してください。
 - (https://cms.iopscience.org/9b7fb5af-4afd-11e9-9082-7104d0739f5c/Originality_policy.pdf)
- ② JJAPのRegular Paperでは、引用文献数の目安を30以上としています。論文執筆の際には、 当該論文のオリジナリティが読者に伝わるよう著者ご自身の既発表論文と関連論文を 適切に引用いただくと共に、十分な議論の展開を含めてください。
- ③ SSDM2025に採択されても本会議で発表が行われなかった場合、論文は取り消しと見なされ、特集号掲載の対象にはなりません。
- ④ 特集号に投稿された論文は、JJAPの通常の閲読手続を経て掲載の可否が決定されます。

投稿された論文がすべて掲載を認められるわけではありません。

- ⑤ 掲載可となった論文から順次オンライン公開されます。
- ⑥ JJAP特集号では、Regular Paper(RP)、Brief Note(BN)、Progress Review(RV)を募集します。いずれの場合も、上記①-⑤項が適用されます。RVは、ご自身の成果を含めながら、特定分野の最先端の進展をレビューいただく招待論文で、SSDM論文委員会より推薦を受けた方のみ対象とし、著者負担の掲載料も免除されます。RVが掲載後、請求書(invoice)が著者へ届きますので、SSDM事務局(secretariat@ssdm.jp)へ転送して下さい。事務局で支払い手続きを行います。
- ⑦ RPとBNの著者は掲載料をご負担頂く必要があります。掲載料に関する請求書はオンラインで公開された後にIOP Publishingよりe-mailにて送信されます。今後、掲載料が変更される可能性がありますが、請求される掲載料は論文が公開された時点での価格となります。最新の掲載料は下記のwebでご確認下さい。

https://iopscience.iop.org/journal/1347-4065/page/Publication_Charges

⑧ 原稿作成にあたっては下記URL を必ずご一読ください。

Author Guidelines

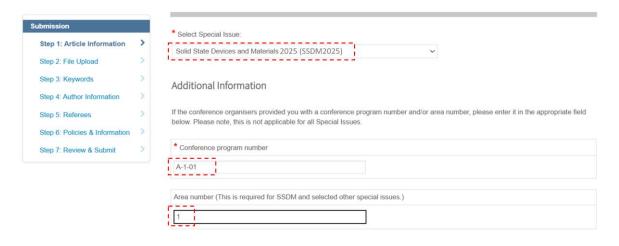
https://iopscience.iop.org/journal/1347-4065/page/Author_Guidelines

投稿はウェブサイトを介したオンラインでのみ受付けます。またこの投稿サイトの利用にはユーザ登録が必要となります。

Submission options (Select "Submit an article for JJAP Special Issues")

https://iopscience.iop.org/journal/1347-4065/page/submission-options

⑨ 投稿の際には 投稿サイトのAdditional Information の欄に Conference program number および Area Number を記入してください。入力例を下記に示します。



⑩ なお、閲読結果により、大幅な修正・再投稿に時間を要し、当該論文の査読終了が、 上記の特集号審査終了期日(2026年2月28日)を大幅に越えることが見込まれる場合、 特集号担当編集委員(G-Ei)、もしくは特集号責任編集委員(G-EC)の判断により、 特集号論文としては一旦Rejectし、JJAP通常号に投稿し直して頂く場合があることを ご承知おきください。

SSDM2025論文委員会 JJAP特集号責任編集委員(G-EC) 佐道 泰造,原 真二郎,田岡 紀之

> SSDM2025論文委員長 湯浅 裕美